



燕市立吉田北小学校

学校だより

令和6年11月22日

No.7

学校だよりは、地域の皆様にも回覧板でご覧いただいています。日々の教育活動の様子を、学校ホームページ (<https://www.schoolweb.ne.jp/tsubame/yoshidakita-e>)に掲載しています。

一人一人が主役、一人一人が輝く晴れ舞台

校長 齊藤 カオル

10月26日(土)に文化祭・学習発表会が行われました。学習発表会では、どの学年も「子どもたち一人一人が主役」そして、「一人一人が輝く晴れ舞台」となり、大成功だったと感じています。何を発表したいか担任と話し合い、たくさん練習して仲間と共に作り上げた舞台だったことを私は知っていましたので、子どもたちの堂々とした姿や誇らしげな表情から、自信をもって自分の役割を果たし、発表を楽しんでいたことが伝わってきて、大変うれしい気持ちになりました。学習発表会は、子どもたちにとって、大きく成長する機会となったと思います。



【劇「米納津隕石物語」を発表する3年生】

当日は、多くの保護者の皆様から来校いただき、子どもたちの頑張りに対して大きな拍手を贈っていただいたり、文化祭の絵画作品等をじっくり見ていただいたりしました。また、社会体育団体の保護者の皆様からは、団体に所属する子どもたちの頑張りの姿が伝わる掲示物を掲示していただきました。ハンドメイドボランティアの皆様からはハンドメイドショップを開いていただきました。後日、売り上げの一部から児童図書を寄贈していただけることになっています。どの皆様からも子どもたちを思う温かな気持ちが伝わってきました。本当にありがとうございました。

校長が見た！「もう一つの晴れ舞台」

11月10日(日)に北地区カーニバル(文化祭)が吉田北体育文化センターで行われました。案内状をいただきましたので、足を運んでみました。

「毎年、子どもたちに大盛況で、今年は子どもたちの小学生スタッフが20人近くいます。」と地域コーディネータの方々からお聞きしていただきましたので、とても楽しみでした。

「子どもたちが生き生きしている！」これが様子を一目見た時の私の感想です。法被を着た小学生スタッフの子どもたちが「いらっしゃいませ。」とお客様に大きな声を掛けながら、ポップコーンや綿あめ等を販売したり、ビンゴゲームの進行をしたりしていました。売り子の小学生スタッフの子どもとじゃんけんをして勝つと、ポップコーンがもう一杯もらえるというサービスがありました。吉田北体育文化センターの職員の方からは、「子どもたちが考えたサービスなのです。この他、子どもたちの考えでカーニバルを盛り上げる館内放送をしてもらっています。子どもたちは頑張っていますよ。」とお話をお聞きすることができました。小学生スタッフとして参加した子どもたちにとって、まさに「もう一つの晴れ舞台」になったのだと感じています。子どもたちのためにと、準備や支援に当たっていただいたすべての関係者の皆様、ありがとうございました。

にゅうしょう
入賞 おめでとう
sample

新大全国競書大会

準特選

2年 柳瀬さん

12月



- 3日(火) 吉北祭り 学年学級タイム
- 9日(月) 諸費振替日
- 10日(火) 街頭指導 学年学級タイム
- 11日(水) 委員会
- 17日(火) 学年学級タイム
- 18日(水) 授業4時間(この日から学期末の授業短縮となります)
- 20日(金) 給食最終日
- 23日(月) 終業式
- 24日(火) ~ 1/7(火) 冬休み

お願い

吉田北学校を正面の道路側から見ると、2つの門があります。1つは、子どもたちが登下校で使っている「通用門」です。もう1つは、職員や来校者が車の出入りで使っている「正門」です。

保護者の皆様は、2つの門のうち、1つは車の出入りで使用してはいけない門であることをご存じでしたか？

実は「通用門」は、基本的に車の出入りでは使用しないことになっています。子どもたちが登下校で使っている門ですし、道路がカーブしていて見通しが悪いからです。ただし、例外が1つあります。それはスクールバスです。スクールバスは車体が大きすぎ、正門を入れて駐車場を抜けることができないので、通用門からの出入りをしています。

もし、保護者の皆様の中で、知らずに通用門を車の出入りで使用されている方がいらっしゃいましたら、今後はお控えくださいますようお願いいたします。

ただし、子どもたちが完全に下校した後の社会体育で使用するような場合は、使用していただいてもかまいません。

